

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(平成21年8月分)

ご協力ありがとうございました。平成21年8月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 168社 回答 156社 回答率 92.9%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	4社 2.6% (14.1)	13社 8.4% (24.4)	47社 30.5% (33.3)	48社 31.2% (13.5)	42社 27.3% (14.7)	154社	2社 1.4% (0.7)	3社 2.0% (1.3)	13社 8.8% (7.2)	22社 14.9% (13.2)	108社 73.0% (77.6)	148社
売上高	5社 3.2% (13.0)	10社 6.5% (26.6)	47社 30.3% (30.5)	54社 34.8% (13.6)	39社 25.2% (16.2)	155社	0社 0.0% (0.7)	1社 0.7% (0.0)	8社 5.4% (6.7)	20社 13.4% (10.7)	120社 80.5% (81.9)	149社
在庫数量	1社 0.7% (1.3)	15社 10.2% (10.7)	66社 44.9% (40.0)	46社 31.3% (38.0)	19社 12.9% (10.0)	147社	11社 7.7% (12.3)	11社 7.7% (6.2)	21社 14.7% (18.5)	27社 18.9% (19.9)	73社 51.0% (43.2)	143社
販売単価	1社 0.7% (0.7)	18社 12.0% (7.3)	91社 60.7% (53.0)	36社 24.0% (31.8)	4社 2.7% (7.3)	150社	3社 2.1% (4.1)	3社 2.1% (4.1)	20社 14.1% (11.6)	18社 12.7% (15.8)	98社 69.0% (64.4)	142社
収益状況 (粗利)	5社 3.3% (4.5)	10社 6.5% (16.2)	62社 40.5% (41.6)	45社 29.4% (24.7)	31社 20.3% (13.0)	153社	1社 0.7% (2.0)	2社 1.4% (0.7)	7社 4.8% (8.1)	25社 17.0% (18.1)	112社 76.2% (71.1)	147社
稼働率 (生産・加工設備)	3社 2.4% (8.2)	8社 6.4% (17.2)	43社 34.4% (41.0)	45社 36.0% (17.2)	26社 20.8% (16.4)	125社	0社 0.0% (1.7)	4社 3.4% (1.7)	11社 9.2% (11.8)	22社 18.5% (13.4)	82社 68.9% (71.4)	119社
入出庫の トラック台数	2社 1.3% (3.4)	7社 4.7% (18.2)	56社 37.6% (41.2)	60社 40.3% (25.0)	24社 16.1% (12.2)	149社	1社 0.7% (0.0)	5社 3.6% (0.7)	15社 10.8% (9.9)	31社 22.3% (25.4)	87社 62.6% (64.1)	139社
現在の景況感	0社 0.0% (1.3)	1社 0.7% (1.9)	29社 19.2% (23.4)	36社 23.8% (16.9)	85社 56.3% (56.5)	151社	0社 0.0% (0.0)	1社 0.7% (0.6)	11社 8.0% (4.5)	22社 15.9% (14.9)	104社 75.4% (79.9)	138社
3ヶ月後の 景況予測	1社 0.7% (0.7)	11社 7.5% (9.3)	32社 21.8% (22.7)	38社 25.9% (24.7)	65社 44.2% (42.7)	147社						
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

## 景況実感調査（8月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 予想通りの在庫減少で、市況は強含みで推移している。需要面も緩やかながら回復基調にあり、しばらくはこの状況が続く。当面は、供給過剰にならないことを祈る。
- ② ユーザー向けの長期在庫の圧縮が遅れている。一方、店売りマーケット対応の在庫は減少の一途だが、相場急騰となつてこない。在庫に資金が回ってこない状況だ。
- ③ 6、7月は順調であったが、8月は稼働日数が少ないせいもあるが、加工量減となる。9月も厳しい感のある予測だ。
- ④ 8月は稼働日数が少なかった分、日割りでは増加したが、末端の需要は相変わらず低調。先行きに不安がある。品薄と仮需的動きで値段が上がっているが、必要な値上げなので、資金繰りの問題もあり、先では値下げになると見ている。無理な在庫は禁物。
- ⑤ 夏休みの影響もあり、実需は前月以上に弱い。建築向けは、とくに手持ち工事、残工事ともに減ってきており、先行きが不透明。足下は歯抜けサイズも増えて品薄感でいっぱいだが、申込みを目いっぱい抑えた効果であり、ユーザー、需要家向けより仲間商売での問合せが多く、活況感はない。一時的ではあるが、一部の補正予算が止まっているようで、政権交代の混乱が最短であつて欲しい。在庫が減っており、売り上げ減のわりには資金繰りは、短期的には楽になっているが、反動が怖い。
- ⑥ 夏季連休で稼働日数が少なかった影響もあり、前月比数量、売上高とも減少。需要減状況下、材料価格アップの動きにより受注回復に冷水を浴びせる状況を懸念。物件引合い数は漸増傾向なるも、単価低下傾向が鮮明になってきている。
- ⑦ 鉄鋼関連はお盆休みもあり、販売減。建材関連は、駆け込み需要があり8月は7月並みの実績。ただ、9月に入り、建材は出荷量が減っている。

### 中板

- ① 8月の販売量は、前月比で予想以上のダウン。相変わらず末端需要家まで仕事が入らないのが現状だ。小刻みに値上げを実行しているが、抵抗が強く思い通りには行かず苦慮している。建設関連、建機産機関連は当面期待できず、需要の低迷が大きな要因といえる。今後とも、流通はメーカーと需要家の板ばさみになり、厳しい状況が続くと予測される。市況が強基調に推移しているのは確実だが、実需がない中、売上確保に走り、安値折り合いだけは避けたい。

## 厚板

- ① 当月は夏休みの影響もあるが、大幅に落ち込んだ前月と同水準の低い山積みとなっている。橋梁は関東圏のFABの手持ち工事が低い状況であり、大型鉄骨も当面は切板に結び付くものは少なく、秋口からの回復期待もあるが、全般的には年末頃までは、このような状況が続くものと思われる。厚板もやや輸出が回復してきたが、内需の主力である造船が新規受注がないため、鋼材発注も徐々に減少してきており、加えて建産機、建築とも引き続き低水準な状況である。価格的にも他品種が持ち直している中、厚板に関してはまだ下落傾向にあり、先が読めない状態である。

## 一般開形鋼

- ① 3千円、5千円と2ヶ月で8千円の値上げ。我々流通は値上げ「マッタ」なし。しかしながら、足下を見ると需要は少なく、相変わらず一つの物件に安値追いが続いているように見える。この様に需給のバランスが崩れかかっている状況で、需要家への説明責任を果たすのは重労働である。市場、特に関東の在庫が3ヶ月増加している現状も見て取れる以上、重ねてメーカーへの供給バランスを望む。
- ② 休み明けの荷動きが好調で、前月比営業日数4日減なるも、売上、粗利状況は横這いである。ということは、前月並みの営業日数であれば、前月比増となったであろう。底這いの建築需要も9月以降出てくるだろうし、微妙な変化をキャッチして業績に反映させたい。

## 鋼管

- ① 8月の売上は7月よりは下がってしまったが、利益率では向上した。市況は強めに推移しているのので、これ以上下がることはなさそうである。

## 構造用鋼

- ① 店売りについては相変わらず基調としては低調で荷動き、引合いとも弱い。価格も弱含みで推移している。紐付材については徐々にではあるが、自動車向けを中心に荷動きが回復しつつある。ただし、一般産機はまだ在庫調整中で、当分の間、回復には時間がかかりそうである。

## その他

### <鉄スクラップ>

- ① 8月前半は好調だったが、後半、輸出向けが値下がりし始め、スクラップ業者の出荷が早まり、域内電炉の殺到。荷制限になり、1週間で10%以上下落した。

### <鋼材加工>

- ① やや引合が出てきたような感じがする。

### <金属表面処理加工>

- ① 8月は前月工程スライドの紐付材対応により、稼働日数減にもかかわらず処理量、出荷とも計画通り。高付加価値仕様の加工を取り込み、平均単価が上昇傾向。9月も8月同様、物件物、紐付を中心にして安定操業にて推移できそうである。